

2019年9月5日
日本郵便株式会社

郵便・物流のバリューチェーン全体の変革に取り組む
オープンイノベーションプログラム
「POST LOGITECH INNOVATION PROGRAM 2019」の募集開始

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 横山 邦男／以下「日本郵便」）は、スタートアップ企業などのパートナー企業との共創を目指すオープンイノベーションプログラム「POST LOGITECH INNOVATION PROGRAM 2019」（以下、本プログラム）を2019年度も実施します。また、本日9月5日（木）から、オープンイノベーションプラットフォームの「eiicon」上に本プログラムの専用サイトを公開して、パートナー企業の募集を開始します。

1 概要

本プログラムは、現在の物流業界が直面する環境変化を踏まえ、日本全国を網羅する郵便局とこれらをつなぐネットワークを通じて、地域・社会の暮らしをより豊かにすることを目的として2017年度から実施しているものです。

3回目となる今回は、全国各地を網羅する郵便・物流ネットワークなどの日本郵便のリソースを活用して、パートナー企業と共に、郵便・物流のバリューチェーン全体の変革に取り組みます。

2 実施内容

2019年9月5日（木）から同年9月30日（月）まで本プログラム専用サイト（<https://eiicon.net/about/japanpost-2019/>）でパートナー企業を募集します。

その後、審査を実施し、採択企業との実証実験などを通じて事業展開を検討していきます。

（1）募集テーマ

郵便・物流のバリューチェーンを改革し、最適な仕組みで届ける。

※オペレーションの最適化や自動化、あるいはお客様の利便性向上を追求することで、

配送の価値を再定義する取り組み

＜具体例＞

・バリューチェーンの最適化

AIやIoTの活用により、引き受けから配達までの中に潜在するムダ・ムラを解消し、郵便・物流のバリューチェーンを最適化する。

・オペレーションの自動化

ロボティクスにより、作業負荷の高い業務を代替し、オペレーションを自動化する。

・サービスイノベーション

データサイエンスやIoTの活用により、差し出し・受け取りチャネルの多様化などを実現し、お客様の利便性を向上する。

・新たな価値・サービス

全国各地の配送網・郵便局などバリューチェーンの価値を再定義し、配送にとどまらないさまざまな価値を届ける新たなサービスを提供する。

(2) 活用リソース

- ・全国各地を網羅する郵便・物流ネットワーク
(例) 全国約 24,000 力所に及ぶ郵便局、全国約 18 万本の郵便ポスト、約 12 万台の配達用車両、国内外の物流拠点など
- ・データ提供
(例) 郵便物や荷物の配達個数、配達箇所数など郵便・物流のバリューチェーン上から抽出可能なデータなど
- ・ファイナンス・プロモーション支援
(例) 協業発表会でのプロモーションの機会、実証実験費用の拠出や出資の検討など
※具体的な内容や金額に関しては、パートナー企業と日本郵便で協議の上、決定します。

(3) スケジュール

2019 年 9 月 5 日 (木)	サイト公開・募集開始
2019 年 9 月 12 日 (木)	募集説明会
2019 年 9 月 30 日 (月)	募集締め切り
2019 年 10 月中	書類選考、面談審査
2019 年 11 月上旬	選考結果連絡
2019 年 11 月中旬以降	共創期間

(4) お申し込み方法

以下の本プログラム専用サイトからお申し込みください。
応募要件など、本プログラムの詳細は下記サイトをご参照ください。

本プログラム専用サイト： (<https://eiicon.net/about/japanpost-2019/>)

以 上

【お客さまのお問い合わせ先】
日本郵便株式会社
事業開発推進室
電話：03-3477-0549